



「あなたの思いが まち・ひと・しごと を輝かせる」 知名町人口ビジョン

企画振興課 電話(84)3162

人口ビジョンの全体像

人口ビジョンとは、国の長期ビジョンを勘案しつつ、まず人口の現状を分析し、総人口や年齢構成がどのように変化してきたか、その要因を分析し、今後予想される人口の変化が地域の将来にどのような影響を及ぼすかを分析・考察するものです。

人口の将来展望については、人口の現状分析で把握した課題を踏まえつつ、本町の結婚・出産・子育てや、移住に関する意識・希望等を把握し、自然増減(出生・死亡)、社会増減(転入・転出等)に関する見通しを立て、策定をおこないます。

また、出生及び移動に関する仮定を設定し、地元就職率の動向や進路希望状況など多面的な調査・分析を

検討し、まち・ひと・しごととの創生と好循環の確立を目指します。

対象期間

第5次総合振興計画は、本町が「みんなで創り みんなで育む みんなのまち」を念頭に、平成31年度までの中期ビジョンであり、目指す将来像「ずっと住み続けたい・・・誇りと自信溢れるまちだから」は将来の本町を見据えながら、計画終期までに実現を目指すものです。

なお、知名町人口ビジョンの対象期間は、25年後の2040(平成52)年とし、第5次総合振興計画との整合を図るとともに、国立社会保障・人口問題研究所(以下、社人研)の人口推計を基礎数値として用います。

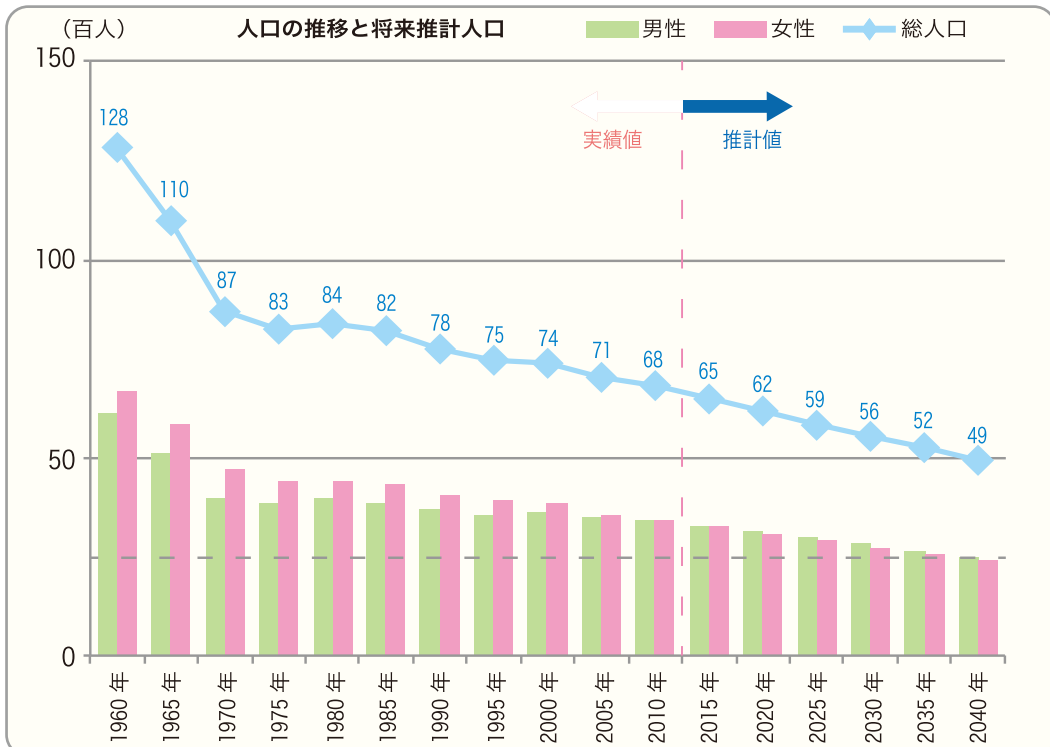
人口の推移と将来人口推計

①総人口

本町の総人口は、1960(昭和35)年の約12800人以降、高度経済成長による人口の都市圏流出によって大幅に減少し、1970(昭和45)年の総人口は約8700人となっています。

1970(昭和45)年以降の総人口は、第2次ベビーブームによりほぼ横ばいで推移していましたが、1990(平成2)年代初頭の好景気(バブル景気)により再び、都市部への人口流出が起これ、総人口は減少傾向に転じ、2015(平成27)年の総人口は約6500人になると推計されています。

社人研によると、本町の総人口は、今後も減少が予想され、2040(平成52)年には5000人を下回ると推計されています。



※出所：1960年から2010年までは国勢調査による人口推移、2015年から2040年までは、社人研による将来推計人口

知名町人口ビジョンは、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」を勘案し、本町における人口の現状分析を行い、人口に関する町民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。また、人口ビジョンは、まち・ひと・しごと創生の実現に向けて効果的な施策を企画立案する上で重要な基礎となることを認識し、策定しました。